



1. 教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語を正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

2. 年間計画

前 期		後 期	
月	内 容	月	内 容
4	オリエンテーション	10	実用文の情報を捉えて生かす
	春に 立ってくる春		旅への思い
	立ってくる春		和歌の調べ
	なぜ物語が必要なのか		書写
5	情報を確かめてスピーチをする	11	風景と心情 最後の一句
	私		異字同訓 慣用句・ことわざ
	薔薇のボタン		俳句の味わい 初恋
6			書写
	前期中間テスト	12	故郷 自己PR文を書く
	メディア・リテラシーはなぜ必要か？		四字熟語
	呉音・漢音・唐音 助詞のはたらき		後期定期テスト
7			書写
	AIは哲学できるか	1	生命とは何か
	客観性や信頼性のある記事を書く		地球は死にかかっている 水の星
	熟字訓		「対話力」とは何か
8			書写
	和語・漢語・外来語	2	意見を共有しながら話し合う
	asyn c同期しないこと		中学校生活をまとめて作品集を作る
			書写
9			
	問いかける言葉 助動詞のはたらき	3	バースディ・ガール
	前期末テスト		青春の歌
	説得力のある批評文を書く		やわらかな想い
	書写		

3. 評価の観点（目標）と方法

知識・技能・・・社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

思考・判断・表現・・・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

主体的に学習に取り組む態度・・・言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

評価の観点	方法（評価の資料となるもの）
知識・技能	漢字テスト、定期テスト、ノートの作り方 書写など
思考・判断・表現	交流の際の話し合い活動への姿勢（話し方・聞き方）、発表練習の取り組み、意見文のへ取り組み、ノート作り、定期テスト など
主体的に学習に取り組む態度	授業や課題に積極的に粘り強く取り組もうとする姿勢、自分なりに見通しをたてて学習しようとする姿勢、ノート作り、ワーク・プリントの取り組みなど

4. 授業と家庭学習では

まずは、授業です。話をしっかりと聞き、積極的に発言する。わかることはわかる。わからないことはわからない。自分なりのノートを作ってみる。板書だけでなく、気がついたことや大切なことをメモすることも必要です。そんなふうに一生懸命に、真剣に授業に向かうことが“一番”です。「話すこと」「聞くこと」「書くこと」「読むこと」に得意・不得意関係なく挑戦してみることです。

家庭学習では、ノートを利用して思い返してみたり、まとめ直してみたりするのもいいです。また、漢字テストを毎週行っています。事前にプリントが配られますので、満点取れるように頑張ってみましょう。コラムを授業で読んだりまとめたりすることがありますが、授業でやらなかった部分を家庭学習としてやってみるのもとってもいいと思います。学習内容によっては「これやったらいいよ」もいるので、参考にしてください。

最後に、『文字』に少しずつでもいいので触れてみることです。朝読書を利用してもいいし、新聞を読むのもいいし・・・たくさん『文字』に触れる機会を作ることです。また、『言葉』をたくさん発してみることです。しっかり聞こえて伝わる返事、爽やかで笑顔のあいさつ・・・たくさん『言葉』を発する機会を作ることです。がんばってくださいね！